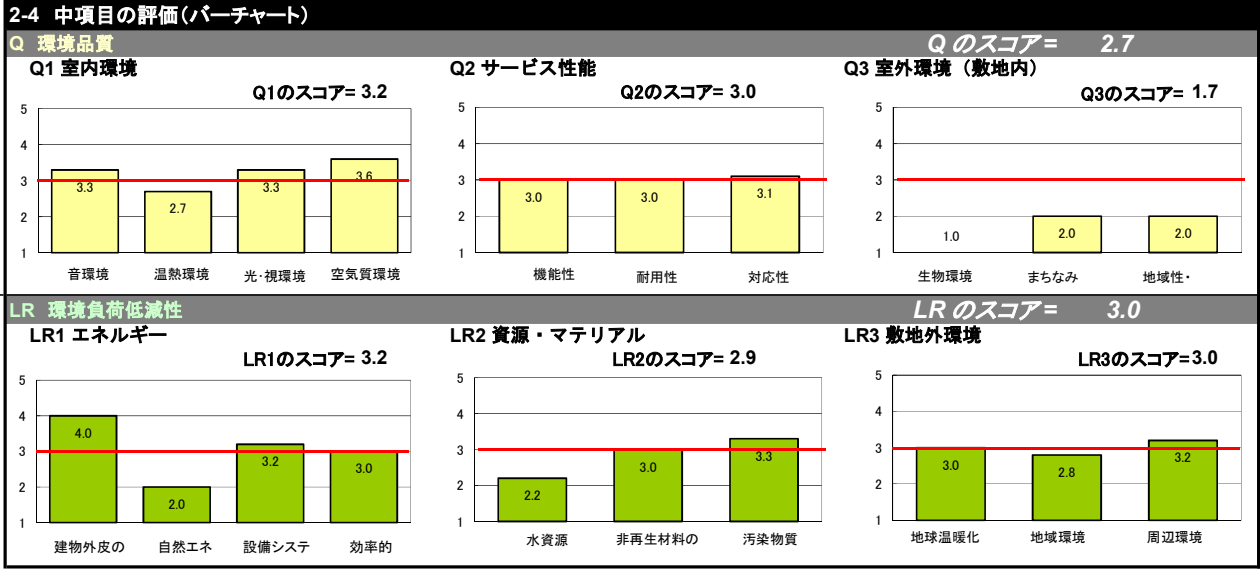
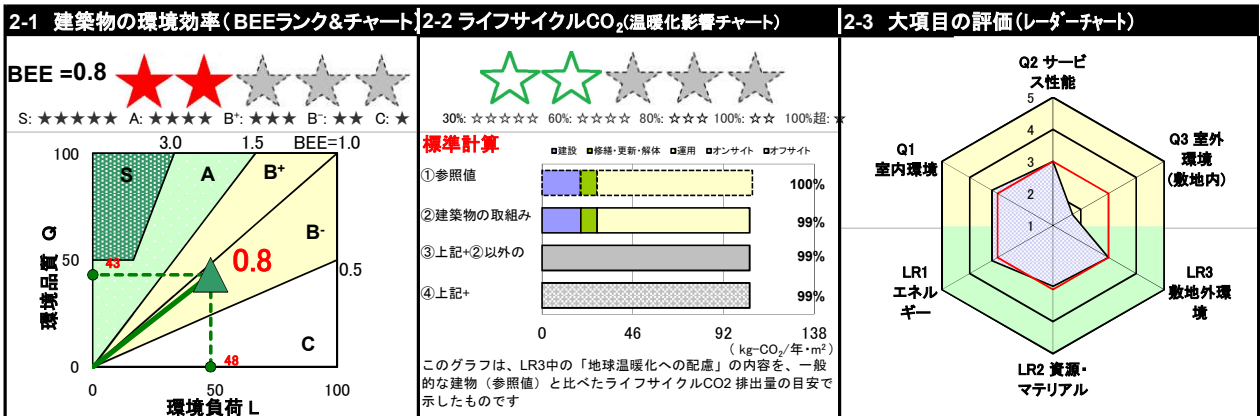


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 秦野市今川町計画 新築工事	階数	地上12F
建設地	秦野市今川町131番61ほか7筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年03月 予定	評価の実施日	2023年08月22日
敷地面積	893㎡	作成者	株式会社日本エーコン 一級建築士事務所
建築面積	381㎡	確認日	2023年08月31日
延床面積	3,531㎡	確認者	株式会社日本エーコン 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 秦野駅から歩いて約3分の商業地域に共同住宅を計画した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。自然換気有効開口面積が居室床面積の1/6以上。2.0%≦[昼光率]。	Q2 サービス性能 各住戸に100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境が整備されていること。給水VLP(B)、排水VP(B)、冷媒管(C)、Eは不利用。耐震クラスA。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEI=0.98。日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	LR2 資源・マテリアル 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。また、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される